

社会連携に関する主な活動（2019年度の取組）

（2020年5月）

①学生との連携

▶学生が、企業や団体と連携し、以下の取組みを行いました。

- 生活科学部の学生が、名古屋市が始めた商店街活性化事業「空き店舗活用プロジェクト」に参画し、壁・床・建具の塗装や家具の制作を行いました。
- 生活科学部の学生が、東山動植物園の活性化を目的としたイルミネーションを企画し「紅葉ライトアップ」に展示されました。また、花の形をしたランタン制作のワークショップを実施しました。さらに、星が丘テラスとのコラボレーション企画、星が丘を彩るイルミネーションを制作し、ウインターイルミネーションを盛り上げました。
- 生活科学部の学生が、株式会社ヤマナカと中日本フード株式会社と協働し「カラダよろこぶ弁当」の監修をし、販売しました。
- 人間関係学部の学生が、日進市民会館で開催された男女共同参画のイベントにブース出展しました。
- 文化情報学部の学生が、名古屋市と連携・協力して、市の広報映像を制作し、区役所・支社や各種イベントなどで上映されました。
- 文化情報学部の学生が、株式会社読売旅行と連携し、企画からチラシ作成までをした旅行ツアーをプロデュースしました。
- 文化情報学部の学生が、「あいちワークショップ・ギャザリング」に出展し、参加した子どもたちに電子工作やプログラミングの楽しさを伝えました。
- 現代マネジメント学部の学生が、株式会社スマイルリンクと協働し、企画開発した、お土産菓子「名古屋ベルころん」を販売しました。
- 現代マネジメント学部の学生が、星ヶ丘三越と連携し、株式会社いらかとフローズンヨーグルトを用いたスイーツを開発し、販売をしました。
- その他、ボランティア活動として、学生が、自治体や学校などから依頼を受け、防災訓練、語学、演奏会、寄席、映像制作などの活動を行いました。また、ボランティアサークル（「はぴなす」、「うえるかむ」）が、地域の施設で行われるイベントに協力しています。

※上記以外にも、多数の連携活動が行われています。詳細は、本学のウェブサイト（News 新着情報）をご覧ください。

<http://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/social/partnership/>

②受託研究・共同研究

▶教員が、企業、自治体、教育機関などと連携して受託研究・共同研究を行いました。

- ・国立研究開発法人との受託研究
- ・国立大学法人との受託研究
- ・名古屋市との受託研究
- ・社会医療法人との受託研究
- ・食品工業会社との受託研究
- ・水産会社との受託研究
- ・食品会社との共同研究
- ・自動車会社との共同研究

③講師派遣

▶教員が、企業・自治体などで講義・講演を行いました。

- ・一宮市が主催するセミナーで、育児に関する講演を行いました。
- ・名古屋市教育委員会が主催するセミナー「親学関連講座」で思春期を迎える子どもと性に関する講演を行いました。
- ・尾張旭市教育委員会が主催するセミナーで高齢者の感染予防をテーマに講演を行いました。
- ・稲沢市教育委員会が主催するセミナーで子育てをテーマに講演を行いました。
- ・春日井市が開催する講座で、仏像に関する講演を行いました。

④連携講座

▶自治体と連携した講座を開催しました。

- ・日進市教育委員会との連携講座で「日本のことばと文学の世界を愉しむ」というテーマに講座を開催しました。
- ・日進市教育委員会との連携事業で、「認知症の心理学」というテーマに講座を開催しました。
- ・日進市教育委員会との連携講座（子供向け）で、デジタル技術に関する講座を開催しました。
- ・名古屋市及び日進市との各連携事業で、健康促進に関する講座を開催しました。
- ・名古屋市教育委員会との連携事業で、能楽鑑賞に関する講座を開催しました。
- ・千種区役所と連携し「市民公開講座・認知症の人と家族を支える技術」に関する講座を開催しました。
- ・千種保健所センターとの連携事業で「親子料理教室」「男性料理教室」「小学生クッキング教室」を開催しました。